

愛媛県視察団

東南アジア市場の開拓へ

インドネシア経済視察記

現地ビジネス情報を収集

愛媛県から36企業・団体が参加

愛媛県商工会議所連合会は4月8日・13日に、インドネシア・ジャカルタへ経済視察団を派遣した。同視察団には、白石倉三会頭(三浦工業会長)を団長に、県内の36企業・団体から45人が参加したほか、中村時広愛媛県知事をはじめ愛媛県関係者も同行した。インドネシアは、チャイナリス

ビジネス商談会

10日は、インドネシアの全国官銀行バンクネガラインドネシア本部(BNIジャカルタ)で、「インドネシアの投資環境と課題」と題したパネルディスカッションとビジネス商談会を行い、インドネシア政府の関係者などを含め約250人が来場した。

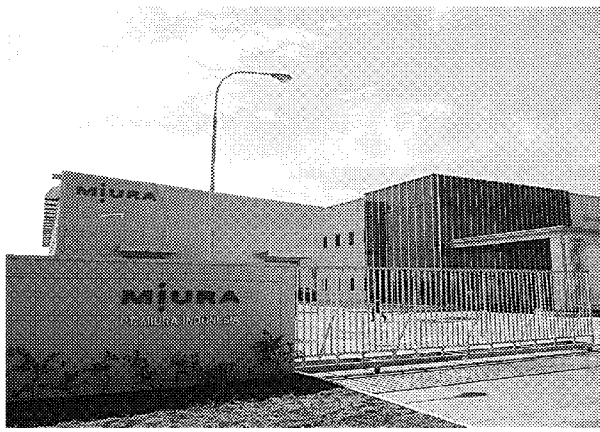
パネルディスカッションには、日本側からは中村知事と白石会頭が、インドネシア側からは投資調整庁バシリ長官、工業省ワティ総局長秘書BNIガット頭取、インドネシア商工会議所ハルソノ日本委員会代表、インドネシア日本友好協会ゴーベル理事長が参加



左から工業省ワティ総局長秘書、白石愛媛県商工会議所連合会会頭、中村愛媛県知事、投資調整庁バシリ長官、BNIガット頭取、インドネシア日本友好協会ゴーベル理事長、インドネシア商工会議所ハルソノ日本委員会代表

三浦工業

産業用ボイラのトッパメーカー三浦工業は、2009年に現地法人「PTミウラインドネシア」をジャカルタに設立した。ジャバ



三浦工業の現地生産拠点「PTミウラインドネシア」

地域の需要増に生産体制強化

出を受けて増加傾向。こうした旺盛な需要やボイラの大規模な受注は、13年3月には新工場から生産体制を強化し、供給体制の強化を図った。新工場では部品から組み立てまでの一貫生産体制をとり、毎時蒸発量100t以上の高圧ボイラを生産。年間生産台数は従来の200台から700台に増強した。同社によると生産能力は、同地域で最大規模を誇るとしている。生産拠点も新工場に集約し、従業員も約30人増やして約100人体制に強化した。

金融機関の中小企業グローバル化支援策

伊予銀行



ビジネス商談会(インドネシア)の商談風景

伊予銀行は、取引先の海外に活路を求めるニーズに対応、特に二

取引先の海外展開をサポート

SEAN地域全体にの海外に活路を求めるニーズに対応、特に二

経済協力で意見交換

双方の期待感が鮮明に

今後の日本とインドネシアの経済協力について意見交換を行った。中村知事は「潜在的な成長力と近年著しい発展を続けるインドネシアと

生産拠点を置く三浦工業会長という立場を踏まえ「技術やノウハウを我々が教育していくことが大切」と、現地従業員への教育の重要性を語った。バシリ長官は「インドネシアは今後、天然資源と安価な労働力だけに頼る投資が増えている。進出時には、しっかり計画を立ててリスクマネジメントを徹底してほしい」と、リスク回避の重要性を語った。ゴーベル理事長は「日本はモノを作るだけではなく、モノづくりに教育」という概念がある。それがインドネシアにとって非常に役立つことだと考えている」と、日本のモノづくりにから学ぶべき点を指摘した。

日系現地工場を視察

労働環境の把握に質問集中



商談会では延べ261社と商談を行った



工場見学会風景(PTミウラインドネシア)

地(KIIC)とスルヤチフタ工業団地を視察した。KIICでは、同工業団地に進出する油圧シヤボルの住友建機や産業用ボイラの三浦工業の

バンクネガラインドネシア



ガット・ムディアントロ・スワンド頭取

今回パネルディスカッションと商談会の会場となったバンクネガラインドネシアは、総資産ベースでインドネシア国内第4位の国有銀行。12年1月に日系企業専用窓口としてインドネシアの本部内にジャバパデスクを設置するなど、日系企業の支援体制強化を進めている。



「愛」ある街のホームドクター

事業をなさっている皆さまへ

「事業資金」お借入のご相談
「顧問税理士による税務」のご相談
「専門家による財務」のご相談
「新規開業・新分野進出」や「販路や仕入先の拡大」のご相談
「事業継承」のご相談 など

ご家庭の皆さまへ

「将来に備えての貯蓄」のご相談
「年金受取り手続き」等のご相談
「さまざまな資産運用」等のご相談
「マイホームのご購入」や「住宅リフォーム」等のご相談
「お車のご購入」や「教育資金」等のご相談 など

お気軽に、何でもご相談ください。親身になって、お応えさせていただきます。



http://www.shinkin.co.jp/ehime/



Challenge & Smile

新しい力が、明日をつくる。

伊予銀行

